を

ŋ

返っ

生

活

つから止れては家庭!

世月思教

育

なに

援た式のも

`とわ ズやうて `いな注の後事、生

何うい意は片がつ徒

を事でさき付度いた

注だしれ方け々口ち意けょた、、あをの

でう生服掃り出生

た何「はやのすての

のが注お髪仕。注様

か悪意も型方食意子

にっれろ・シのて見 入たたく・ユ仕して らの 思・ 1 ちょい

こでう ĺかはち

知恥い注介け

からない木いのです。いのです。

下が

さあ

いっ見

耳かさし等

身ル

なー社 のル会 でやに

をら

人は

すと係身 。生・にこ

徒家つの

等族けよ

が係とに円・、批

滑上人判

に司間し

なと関な

る部係い

じ教人方

L

下(言・友い

関るう

自

。徒装除まし活

`事しを

かとわ

し中だこた一かにの送し主立温法式こ格会 て学ともち・考な卒りい役派か、歌めな場 ま校感っが二えり業出演)ない服、た雰に い生じた大年でた式す出る足目装 り活ら声き後ほいをこ家感跡本な然き気る まがれでなのしか体と、謝残一どとなの全す。過るまでなが、験が一のしの「1」とない。

た礼たを厳

晴ら. い 卒業式

\$ V1

いす

たる

は達

あ教

り師

まも

う

の

致

命

的

な

習

ようで業で卒しで・気て卒感た事 う感返式す業、き二持く業動態、 せう感返式す。業 式どま年ちれ式の度心謝体をんし生でたで涙、がのと 迎なた)、三しに整こ気な るに動事では、 迎なた 、三しに整こ気なえ卒。と素年た溢つも持り、 う充なし に実卒、子 業魂ど,た業 今な晴生°れたつち の・1/2 まり、1/3 なり、1/3 せ出な 。 で生ん来く い徒。れな るらーまとが事ー逆事す立向則かナー義をにす。し身はルにもれちに」と プログロルにもれらに でにあのマ含ばと関で思を 扱つりよナめそ意わすい混 わいまう | てれ味ら 。ま同 務しせ がっよ あか私

い生年りらん

3月14日(金) 第85号 発行責任者

鮫川中学校長 角田敏文

教

Z., び 自

美 カュ , Sp で 思

B

n

が

あ

る

生

徒

齇 V 1 11

心

ょ < 学心

己

を

高

め

る

生

徒

心 身 を 鍛

Ź た

<

ま

L

いり

生

徒

生を豊かにするワンポ ウ イリアム

グラ

゚ツ

+

イント

週

0

行

事

予

定

的は 76531コ外 ン側 トか 褒ミ言 口方 ロールの労を 美言 で (4)(2)釣 嚇責 常れ る かめ 、ると する 套 手 段考

える



う の 身につけ たい 習

7531意信励耳 見頼まを のすす傾 違る け る 11 を 交⑥④② 涉受尊支 すけ敬援 る入すす れるる る

のわ人 実れは 践る自 標考自 え身 るの 内選 的択 コで ン内 ト 側 ロか 16 ル変

を

注

意

深

ま師関を を年教科 原同必し点月 や生科の次因じずて数・実内試5 り)だ推にを失何くの三力実験日 をはいれる。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 でもでもない。 ではない。 ではない がいてく かり返っ と下をした があっ 。 立 3 ー進込目 さいはずいないはずいとき! グた(ラ°七 年校 生前 L フ必月たは期でず・。第選 基教のは、磁材激、 めでにでず・ 礎材激 にすは確合十 だ(し各 け二い教 3 抜 認計二 回学

21 20 19 18 17 水 火 月 金 木 P P NO 全校 職修 •<u>></u> 休 員了 TT部 A A 活 会式 春 集 本監動 会 議・ 分 部査デ ·愛 0 役会 員 17 向 日 活清 け 会時 中掃 1830 止 時分 00 分

り各 カュ * らもごれ * ちらかん きま うもご覧 す。 マよら